©王子ホール/撮影:堀田敬史

©Yuji Hori



ヴィオラ
鈴木康浩
×
清水和音
ピアノ

VIOLA RECITAL.

鈴木康浩 ヴィオラリサイタル

エネスコ：演奏会用小品
ヒンデミット：パッサカリア
ブラームス：ヴィオラソナタ 第1番 op.120-1
バッハ：シャコンヌ
ブラームス：ヴィオラソナタ 第2番 op.120-2

※都合により曲目が変更となる場合があります。予めご了承ください。

2026年10月26日（月）
18:30開場
19:00開演

銀座 王子ホール
東京都中央区銀座4丁目7番5号

designed by uoha音楽企画

お問い合わせ
チケットご予約

全席指定 6,000円　王子ホールチケットセンター　03-3567-9990

PROFILE



©王子ホール/撮影:植田敦史

Viola
鈴木 康浩
Yasuhiro SUZUKI

桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを辰巳明子、ヴィオラを岡田伸夫の両氏に師事。第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年よりベルリン・フィルの「カラヤン・アカデミー」で研鑽を積み、その後同楽団の契約団員として活動。2004年に帰国した。

現在は読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者を務める傍ら、ソリストとして国内外のオーケストラと共演を重ね、各地でリサイタルを開催している。室内楽においても日本の音楽界を牽引する存在であり、篠崎史紀氏主宰の「マロワールド」に多数出演するほか、王子ホールでは年2回、ランチタイムコンサートの企画・演奏を定期的に担当し、好評を博している。

特に、長原幸太(Vn)、中木健二(Vc)と結成した岡崎市シビックセンターレジデント・アンサンブル「アンサンブル天下統一」での活動は高く評価されており、2023年に岡崎市教育功績者表彰、2025年度には愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞するなど、その芸術性は公的にも大きな注目を集めている。

演奏活動と並行して後進の指導にも注力しており、現在は桐朋学園大学および洗足学園音楽大学にて講師を務めている。



©Yuji Hori

Piano
清水 和音
Kazune SHIMIZU

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠 20 歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間では年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ブランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。デビュー40周年となった2021年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院 教授。